

奈良地方最低賃金審議会  
奈良県最低賃金専門部会  
第2回 議事要旨

開催日時	令和5年8月1日（火曜日） 午後3時2分～午後4時16分		
出席状況	公益を代表する委員	出席 3名	定数 3名
	労働者を代表する委員	出席 3名	定数 3名
	使用者を代表する委員	出席 3名	定数 3名
主要議題	1 奈良県最低賃金の審議（金額審議）について		
議事要旨	<p>公益委員と労働者委員、公益委員と使用者委員の個別協議を行い、労使各側の考え方について議論された。</p> <p>労働者側委員からは、地域間格差を「率だけではなく金額も」縮小することが大きな課題であり重要であること、県外就業率が高く、京都、兵庫など周辺の府県が時間額1,000円を超える状況となっていることから、人材確保の観点からも目安40円をベースに上積みを求める、との主張があった。</p> <p>使用者側委員からは、目安金額自体は予想し得たものの、中小企業の経営環境は非常に厳しいこと、価格転嫁できずに苦勞している企業、人件費の大幅な引き上げが経営を圧迫するため賃上げをしていない企業があること、Bランクの道府県が増加した中で奈良県の実態は（Bランク中の）下位に位置するとみるのが妥当であることから、物価ありき、生計費ありきの上昇率4.3%ではなく、目安マイナスがあるべき姿である、などの主張があった。</p> <p>●次回（第3回）専門部会は、8月3日（木）午後1時30分から開催することとなった。</p>		